

放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム (RaMSEP)

このプログラムは放射線災害の全時相に対応できる人材養成の教育コースの一環として開講するものである。履修者は、所属する専攻コースの必修科目と本プログラムで定める科目を履修する事とする。なお、本プログラム履修者は放射線災害医療に関わるe-learningを自由に聴講することができる。このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者には『放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム修了認定書』を交付する。

【履修方法・修了要件】

分野/コース/領域等		放射線災害の全時相に対応できる人材養成プログラム (RaMSEP)	
科目区分	科目群	条件または科目名	修得単位数
専門基礎科目	専攻共通科目	必修「医学研究概論」(1単位)	11
		必修「医学セミナー」(3単位)	
		必修「医学特殊研究」(2単位)	
		必修「医学特別演習」(5単位)	
		必修「イニシエーションセミナー」(1単位)*生命	
専門科目	共通科目	必修「生命システム医学概論」(1単位)*生命	2(*1)
		必修「疾患制御医学特殊研究」(2単位)*疾患	
		必修「放射線健康リスク管理学」(4単位)	9
		必修「放射線災害医療学」(2単位)	
		必修「放射線科学 -その基礎理論と応用-」(1単位)*2	
		必修「課題解決型放射線科学演習」(2単位)	
		選択「診断医学物理学講義」(2単位)	
		選択「治療医学物理学」(6単位)	8~(*3)
		選択「保健医学物理学講義」(2単位)	
		選択「基礎医学物理学」(6単位)	
		選択「臨床研究と統計学」(1単位)	
		選択「臨床試験論」(2単位)	
		選択「医生物統計学概論」(1単位)	
		選択「医生物統計学特論」(2単位)	
		選択「医生物統計学実習」(1単位)	
		選択「疫学特論」(2単位)	
		選択「臨床外科学特論Ⅰ」(2単位)	
		選択「臨床外科学特論Ⅱ」(2単位)	
		選択「臨床外科学演習Ⅰ」(2単位)	
		選択「臨床外科学演習Ⅱ」(2単位)	
修了単位数			30

【履修方法】

標準的には、2年次終了時までには本プログラムが定める必修科目(22単位)及び上記の選択科目を合わせて30単位以上を履修すること。

(*1)

*生命は生命システム医学専攻の学生、*疾患は疾患制御医学専攻の学生が必修科目。

(*2)

大学院共通科目として開講。

(*3)

選択科目群から8単位以上を履修すること。

【修了要件】

上記の必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上を取得し、中間評価の合格、筆頭著者としての英文原著論文1報以上の公表を経て、Dissertation形式の論文審査と最終試験に合格すること。
なお、履修については、上記を満たしたうえで、50単位を超えないこと。

【その他】

・本プログラムの修了要件を満たせば、生命システム医学専攻または疾患制御医学専攻の課程を修了することができる。

・本プログラムを履修する際には所定の手続きを行い、履修を許可された者のみとする。また、履修を希望する際には必ず事前に担当教員に連絡し、承認を得ること。

※所定の手続きとは、通常のコンピュータ上(TWINS)での履修申請に加え、大学院教務へRaMSEPコース履修申請書(専用用紙)を提出する事である。(RaMSEPコース専用eラーニングに関する情報伝達のため)